

## News Release

2024年6月27日  
株式会社プロテリアル

## 豊浦分工場の自家消費型太陽光発電設備が本格稼働

株式会社プロテリアル（以下、プロテリアル）は、脱炭素社会実現への取り組みとして、茨城工場豊浦分工場（茨城県日立市）内に自家消費型太陽光発電設備を導入し、2024年3月から本格稼働を開始しました。同設備で発電する電力量約 195 万 kWh/年（1,947 MWh/年）は全て同工場内で消費し、同工場が使用する電力の約 3.8%<sup>\*1</sup>に相当する見込みです。また、これによる二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減量は約 900 トン/年となります。



写真：豊浦分工場に導入された自家消費型太陽光発電設備

|                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 設置場所                    | 株式会社プロテリアル 茨城工場 豊浦分工場（茨城県日立市） |
| 太陽電池モジュール総出力            | 1,700kW（約1.7MW）               |
| 想定年間発電電力量 <sup>注2</sup> | 195万kWh（初年度）                  |

## 1. 背景

プロテリアルは、脱炭素社会実現への貢献を重要な経営課題（マテリアリティ）に位置付けております。自社事業に伴う CO<sub>2</sub> 排出量については、中期目標として 2030 年度 38%削減（2015 年度対比）、長期目標として 2050 年カーボンニュートラル実現をめざし、脱炭素社会への移行に貢献していく考えです。このため、再生可能エネルギーの導入拡大と省エネルギーの推進に取り組んでおります。

再生可能エネルギーについては、これまで大規模な自家消費型太陽光発電設備を、熊谷地区（埼玉県熊谷市）、真岡地区（栃木県真岡市）およびベトナムにおいて導入しております。再生可能エネルギーによる想定発電量<sup>注3</sup>は 2023 年度末時点で約 2,200 万 kWh/年（21,900MWh/年）であり、これを 2030 年度には 3,500 万 kWh/年（35,000MWh/年）を超えとすることを目標としております。

株式会社プロテリアル

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 豊洲プライムスクエア

[www.proterial.com](http://www.proterial.com)

## 2. 概要

プロテリアルは、茨城工場豊浦分工場内に自家消費型太陽光発電設備を導入し、2024年3月から本格稼働を開始しました。同設備で発電する電力量約195万kWh/年(1,947MWh/年)は全て同工場内で消費し、同工場が使用する電力の約3.8%に相当する見込みです。また、これによる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減量は約900トン/年となります。

本案件は、太陽光発電のTPO/PPAモデル(第三者所有モデルによる電力購入契約: Third Party Ownership/Power Purchase Agreement)を活用し、事業所内の自社所有地を利用することで効率的な再生可能エネルギー導入をめざしたものです。TPO/PPAモデルは、施設所有者が提供する敷地や屋根などのスペースに、太陽光発電設備の所有・管理を行う会社(電力販売契約事業者)が設置した太陽光発電システムで発電された電力を、その施設の電力使用者(施設所有者)へ有償提供する仕組みであり、施設所有者(当社)にとっては太陽光発電をオフバランス<sup>注4</sup>化しリスク低減を図りつつ、大規模な再生可能エネルギー導入を可能にできるメリットがあります。

プロテリアルは、今後も再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進により自社事業でのCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組むことに加え、製品ライフサイクル全体で環境保全に資する新製品(環境親和型製品)を開発、提供することで、グリーン・イネーブラーとして脱炭素社会実現に貢献していきます。

以上

注1: 稼働開始時点の比率。

注2: 電力販売契約事業者の想定条件に基づく。

注3: 2024年3月末の発電能力から算定した年間想定発電量

注4: 貸借対照表(バランスシート)に資産として計上しないこと。

【報道機関からのお問い合わせ】 コミュニケーション部 担当 南 TEL 090-1043-4934

### ■プロテリアル(PROTERIAL)について

# PROTERIAL

プロテリアル (PROTERIAL) は、当社の企業理念を構成する Mission 「質の量産」、Vision 「持続可能な社会を支える高機能材料会社」、Values 「至誠」「鯨則彊(和すれば強し)」のエッセンスを反映しており、“PRO” + “MATERIAL” から作られています。PRO が表すのは **Professional (専門的な)**、**Progressive (革新的な)**、**Proactive (主体的な)** の3つの言葉で、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。MATERIAL はこれら3つのPROに支えられた独創的な技術から生み出される、高機能材料を意味します。

当社グループはその製品と想いに根ざしたサービスを通じてお客さまの課題を解決し、世界の人々に新たな価値を提供して、持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります。

### ■株式会社プロテリアル 会社概要

設立: 1956年4月

本社: 〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア

資本金: 310百万円(2024年3月31日現在)

代表者: 代表取締役 会長執行役員 兼 社長執行役員 CEO (最高経営責任者)  
Sean M. Stack (ショーン・スタック)

売上収益: 1兆332億円(2024年3月期)

沿革: 1910年 戸畑鋳物株式会社として創業

1937年 株式会社日立製作所と合併

1956年 日立金属工業株式会社として分立

2023年 日立グループから離脱し、商号を日立金属株式会社から株式会社プロテリアルに変更

### 株式会社プロテリアル

〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア

[www.proterial.com](http://www.proterial.com)